



## 2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月13日

上場会社名 ロジザード株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4391 URL <http://www.logizard.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)金澤 茂則  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)三浦 英彦 (TEL)03 (5643) 6228  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第3四半期の連結業績(2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	1,168	6.8	185	8.7	185	11.4	124	9.6
2019年6月期第3四半期	1,093	6.5	170	35.3	166	35.3	113	44.5

(注) 包括利益 2020年6月期第3四半期 124百万円(9.6%) 2019年6月期第3四半期 113百万円(44.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	38.37	37.07
2019年6月期第3四半期	35.89	34.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	1,350	1,184	87.7
2019年6月期	1,280	1,042	81.4

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 1,184百万円 2019年6月期 1,042百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,553	6.8	218	△8.3	218	△6.7	152	△4.4	47.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期3Q	3,258,000株	2019年6月期	3,186,000株
2020年6月期3Q	34株	2019年6月期	34株
2020年6月期3Q	3,245,892株	2019年6月期3Q	3,161,353株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、相次ぐ自然災害等及び消費税率引き上げによる消費マインド低下の懸念の中、個人消費は持ち直しつつあったものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により景気は急激に減速し、その影響は多方面に拡大しております。

当社サービスの主たる顧客にあたる流通業界においては、取り扱い商材により取扱量が増加または減少となる顧客があるものの、現状では限定的であり、その影響が当社業績へ与える影響は未詳な状況であります。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間は、AGV連携、EC代金のコンビニエンスストア支払いシステムとの連携など自動化・省力化に寄与する機能追加をロジガードZEROへ行いました。また、2019年5月より販売を開始した店舗在庫管理システムのロジガードZERO-STOREの販売促進活動を積極的に行いました。

この結果、クラウドサービス及び機器販売サービスが増加したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,168,947千円(前年同四半期比6.8%増)となりました。利益につきまして、粗利率のよいクラウドサービスが増加したことにより、営業利益 185,375千円(前年同四半期比8.7%増)、経常利益 185,257千円(前年同四半期比11.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益124,719千円(前年同四半期比9.6%増)となりました。

なお、当社グループは、在庫管理システムの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を行っておりませんが、サービス別の業績は、以下のとおりであります。

#### (クラウドサービス)

当サービスにおいては、新規取引先の増加などにより順調に推移し、当第3四半期連結累計期間における売上高は851,053千円(前年同四半期比12.9%増)となりました。

#### (開発・導入サービス)

当サービスにおいては、前期に大型開発案件の納品があったため、当第3四半期連結累計期間における売上高は225,082千円(前年同四半期比16.1%減)となりました。

#### (機器販売サービス)

当サービスにおいては、サプライ品及びラベルプリンターなどの販売は順調に推移し、当第3四半期連結累計期間における売上高は92,812千円(前年同四半期比29.8%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて70,101千円増加し、1,350,281千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて55,455千円増加し、1,099,519千円となりました。この主な要因は、売上高の増加により売掛金及び現金及び預金が増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて14,646千円増加し、250,761千円となりました。この主な要因は、主力製品であるロジガードZEROのバージョンアップによりソフトウェア仮勘定を計上したことによるものであります。

#### (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて71,594千円減少し、165,776千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて67,464千円減少し、165,776千円となりました。この主な要因は、未払法人税等及び未払賞与を支払ったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、借入金の返済により長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を除く)が前連結会計年度末に比べて4,130千円減少し、固定負債の残高はなくなりました。

#### (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて141,695千円増加し、1,184,505千円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金の増加および新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年6月期の連結業績予想に関しましては、2019年8月13日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響は、現状では限定的であり、その影響が当社業績へ与える影響は未詳な状況であります。業績への影響が判断できる事態となりました場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	827,386	875,764
売掛金	167,008	172,528
商品	1,807	3,578
仕掛品	22,611	15,424
その他	26,735	32,889
貸倒引当金	△1,484	△665
流動資産合計	1,044,064	1,099,519
固定資産		
有形固定資産	22,156	22,464
無形固定資産	189,885	205,875
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,184	8,184
その他	16,679	14,643
貸倒引当金	△791	△406
投資その他の資産合計	24,073	22,421
固定資産合計	236,115	250,761
資産合計	1,280,180	1,350,281
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	24,403	25,587
1年内返済予定の長期借入金	10,842	6,632
未払金	57,089	54,955
未払法人税等	63,637	23,754
賞与引当金	310	19,376
その他	76,957	35,471
流動負債合計	233,240	165,776
固定負債		
長期借入金	4,130	-
固定負債合計	4,130	-
負債合計	237,370	165,776

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	290,804	299,444
資本剰余金	283,306	291,946
利益剰余金	470,541	595,260
自己株式	△69	△69
株主資本合計	1,044,583	1,186,582
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,773	△2,077
その他の包括利益累計額合計	△1,773	△2,077
純資産合計	1,042,809	1,184,505
負債純資産合計	1,280,180	1,350,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	1,093,532	1,168,947
売上原価	561,755	608,960
売上総利益	531,777	559,986
販売費及び一般管理費	361,270	374,611
営業利益	170,506	185,375
営業外収益		
受取利息	47	56
保険解約返戻金	1,455	—
その他	—	6
営業外収益合計	1,503	62
営業外費用		
支払利息	232	120
為替差損	202	60
株式交付費	3,766	—
株式公開費用	1,500	—
その他	51	—
営業外費用合計	5,752	180
経常利益	166,256	185,257
特別損失		
固定資産除却損	—	241
特別損失合計	—	241
税金等調整前四半期純利益	166,256	185,016
法人税等	52,475	60,296
四半期純利益	113,781	124,719
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,781	124,719



四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	113,781	124,719
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△192	△303
その他の包括利益合計	△192	△303
四半期包括利益	113,588	124,415
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,588	124,415

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。